

時間や場所を問わずにアクセスできる、リアルタイムのインサイト

PUMA では、従業員の離職率と欠勤率が 2 つの主要業績評価指標となっています。Workday を利用すると、店舗マネージャは月末まで待たなくてもこれらの情報を入手できます。

課題

PUMA は競争が極めて激しい業界でビジネスを行っているため、常に新しいアイデアを生み出して形にし、短時間で製品を市場に投入しなければなりません。そのためには、成長を後押しする適切な人財とテクノロジーが不可欠です。そこで同社が選択したのは Workday でした。Workday ならプロセスを合理化し、従来の人事管理システムに代わる、運用コストを抑えた直感的に操作できるソリューションを提供できると考えたからです。

“

Workday でリアルタイム データにアクセスできるようになり、情報を探し出す時間をかける必要がなくなったおかげで、従業員をしっかりとサポートできるようになりました。

Dietmar Knoess 氏

PUMA 人事およびセントラル サービス担当グローバル ディレクター

Workdayを導入した理由

ユーザーエクスペリエンスは、PUMAがWorkdayを選んだ大きな理由の1つです。同社の従業員はPCとモバイルデバイスのどちらでも利用できる使い勝手の良いアプリケーションを求めており、Workdayはそれに応えることができました。また、変化に強いグローバルなシステムであると同時に、EUの一般データ保護規則(GDPR)をはじめとする地域で異なる要件に対応できる点も Workday の魅力でした。つまり、オンボーディングからキャリア向上までの従業員のライフサイクルを標準化し、最新のインサイトで従業員のパフォーマンスを確認できるということです。何よりPUMAにとって、Workdayほど革新的なシステムを提供するベンダーは他にありませんでした。同社で人事およびセントラル サービス担当グローバルディレクターを務めるDietmar Knoess氏は次のように述べています。「Workdayからは常に変革に取り組む姿勢が見て取れました。また、顧客を第一に考えていることが伝わってきました。Workdayは顧客の声にきちんと耳を傾け、変化するビジネス要件に合わせて製品を改良してくれます」



Overview

- 世界最大手のスポーツ ブランドとして、シューズ、アパレル、アクセサリのデザインから開発、販売、マーケティングまでを一貫して手がける
- 120 か国以上で製品を販売しており、全世界に 1 万 3,000 人の従業員を擁する
- 本社所在地はドイツのヘルツォーゲンアウラッハ
- 2018 年の収益は 46 億ユーロ

利点

Workdayを導入したことにより、PUMAの従業員とマネージャはどのようなデバイスでも必要な情報にすばやくアクセスできるようになりました。これによって、キャリア開発の進捗確認といったタスクを簡単に行えます。「Workdayは人事に関する私たちの取り組み方を根本的に変えてくれました」と同氏は語ります。

- 複数のシステムを単一のシステムに統合
- Workday を通じて世界各国のプロセスを標準化
- 自動化によって人事部門の生産性が改善し、スピードと効率が向上
- リアルタイム データに基づく的確なインサイトを入手して、意思決定が可能
- 時間がかかるバックオフィスでのプロセスを排除し、複雑さを軽減

Workday Applications

- Human Capital Management
- Finance
- Recruiting
- Time Tracking
- Learning

詳細 / 結果

手動でレポートを作成して、いつでも必要なデータを確認することができるのです。そのレポートを活用して、離職率、欠勤率、採用プロセスをリアルタイムで評価することができます。レポートデータはわかりやすいダッシュボードに表示されるため、店舗マネージャはデータをすぐに分析でき、評価に時間がかかりません。また、ビジネス目標を達成しているのはだれか、パフォーマンス改善やキャリア アップのために研修が必要なのはだれかが、すぐにわかります。

- より早く、より効率的に
- 単一の人事システムを従業員が利用
- 充実したモバイル対応で若いワークフォースを惹きつける

より早く、より効率的に

PUMA は人事システムを全世界で統一したことで、人事データを他のシステムと突き合わせる必要が減り、従業員のパフォーマンスに関するインサイトをすぐに得られるようになりました。また、Workday の導入によってシステムが複数からひとつになったことで、プロセスの標準化が実現し、コストを削減できました。手動による作業も減ったので、人事部門の生産性が向上し、人員を増やすことなく従業員数の拡大に対応できています。「Workday は、一貫性を高め、私たちの働き方を根本的に変えてくれました。Workday によって従業員もマネージャも働きやすくなったのです」と Knoess 氏は語ります。

単一の人事システムを従業員が利用

PUMA では現在、人財に関する情報がすべて単一のシステムに保存され、それを唯一の正しい情報源として活用しています。従業員とマネージャは、このシステムにアクセスし自分の職務に関わる情報を簡単に確認することができます。さらに Workday はセルフサービスで利用できるため、従業員が休暇を申請したり、マネージャが業績レポートや従業員のスケジュールを確認したりする作業も本人自身が行えます。従業員は Workday をすぐに使いこなせるようになりました。従業員は必要な情報をいつでも簡単に見つけられるようになったため、社内の情報開示が進みました。また、データにアクセスするまでのクリック回数が減ったので、従来よりもはるかに速く情報にアクセスできます。

充実したモバイル対応で若いワークフォースを惹きつける

世界最大手のスポーツ ブランドである PUMA には、同社で働きたいと考える多くの若者が集います。その結果、従業員の大多数はデジタル ネイティブが占めています。Workday は、時間と場所に縛られずに働きたいという、そんな若者たちの願いをかなえます。スマートフォンから休暇申請やスケジュール管理ができることは、PUMA のすべての求人者にスマートフォンで応募できることと同じくらい若い世代のワークフォースにとって非常に魅力的なのです。

“

Workdayの操作は非常にシンプルでした。従業員はシステムの操作方法を直感的に理解できたため、トレーニングはほとんど必要ありませんでした。

“

Workdayは、私たちの働き方を根本的に変えてくれました。おかげで、スピードと効率が向上したことを実感しています。Workdayによって従業員もマネージャも働きやすくなり、「Forever Faster」(フォーエバーファスター)というPUMAのミッションにも取り組みやすくなったのです。

Dietmar Knoess 氏

PUMA人事およびセントラル サービス
担当グローバル ディレクター